



プレスリリース

Press Release

Date : 2017. 12.5

表題：食健康科学教育研究センターを設置

○趣旨・目的

国立大学法人群馬大学（学長 平塚浩士）は、「食と健康」に関わる研究の推進及び専門人材の育成により、大学の教育研究及び社会貢献活動等の向上に資するとともに、地方公共団体及び地方産業界等と連携して、地域産業の振興及び社会における健康増進に寄与することを目的として、12月1日に「食健康科学教育研究センター」を荒牧キャンパスに設置しました。

○運営

センターには、センター長及び2名の副センター長を置き、全体を総括するとともに、センター内に設置する4つのユニット（食マネジメントユニット、健康科学ユニット、食品開発ユニット及び食品機能解析ユニット）が連携して、以下の業務を行います。

- (1) 食と健康の科学に係る学生及び社会人等に対する人材育成に関すること
- (2) 食の安全安心に係る支援技術の開発に関すること
- (3) 食を通じた生活習慣病の予防・治療法開発に関すること
- (4) 食品の先端加工・製造技術の開発に関すること
- (5) 食品の新規機能性探索及び開発によるブランディング支援に関すること

○概要

群馬県は農業が盛んで大消費地の首都圏と近接し、食品産業が県内の工業出荷額の2番目に位置しているなど、食品産業は地域にとって重要産業分野の一つとなっています。また、近年の食品業界のニーズは「安心・安全・美味しい」に留まらず、国民の食に対する健康志向の年々の増加を受けて「健康・美容」などの展開が図られており、食の機能性のエビデンスベースでの評価等による高付加価値化への取組は益々期待されています。

このような地域・社会の動向を背景として、センターでは、地方自治体及び産業界等と連携しながら、こんにゃくなどの群馬県の伝統的な食品をはじめとして県内で生産される農作物(残渣)

の高度化、県内農作物を用いたエビデンスベースの高機能食品の開発など食を通じた産業の振興及び食を通じた健康寿命伸長等を目指して、「農」の要素も取り込みながら、シーズ開発、共同研究を推進するとともに、これらに資する人材育成に取り組みます。

○社会的意義

ニーズを元にした研究やオープンイノベーションによる成果を地域産業界へ還元します。また、食健康科学の課題解決に資する総合的な科学リテラシーを持った高度専門職業人を育成するとともに、社会人の学び直しの機会として、リカレント教育の提供により、地域食品産業界が抱える諸問題の解決に貢献します。

【本件に関する問合せ先】

センター長	粕谷健一	TEL : 0277-30-1481
総務部企画評価課長	大川雄司	TEL : 027-220-7013
総務部企画評価課 専門職員	三木智行	TEL : 027-220-7585



後列：左から、花屋副学長、窪田理事

前列：左から、峯岸理事、粕谷センター長、平塚学長

センターの機能と研究・教育内容

地域企業のニーズ・課題から派生した食品開発に関連する諸問題を解決を目指すオープンイノベーションを推進するための産学連携拠点
社会(企業)との連携研究を通じた教育・研究環境を作り出し社会の求める科学リテラシー・実践スキルの教育取得する場の形成します。

健康科学ユニット

研究分野

- ・食品生理学
- ・栄養指導
- ・プロバイオティクス
- ・代謝学

教育内容

生活習慣病などの食健康科学

食品開発ユニット

研究分野

- ・食品生産工学
- ・食品機械工学
- ・食品包装工学

教育内容

食品加工に関わる食品生産工学など

食品機能解析ユニット

研究分野

- ・食品分析
- ・食品レオロジー

教育内容

化学物質・病原性微生物と食の安全
食品に関わる基礎的な物理学・化学

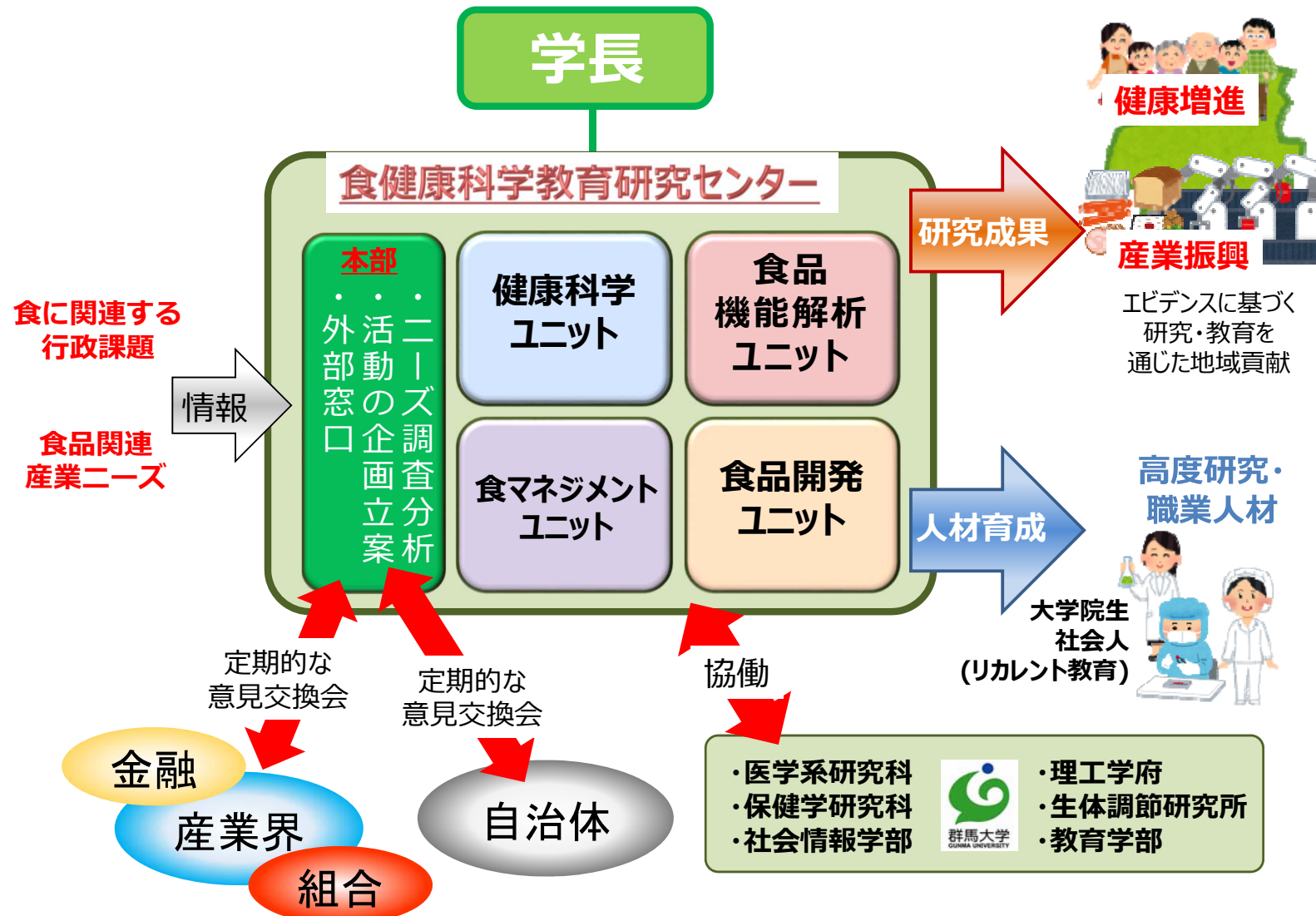
食マネジメントユニット

研究分野

- ・食マーケティング, 食品衛生学

教育内容

食品加工に関わる食品生産工学など



課題

群馬県は大消費地と近接し、大手企業の工場のみならず大小の食品関連企業が存在し、工業品目では、食料品は県内の工業出荷額の2番目に位置しているなど、食品工業は、地域にとって重要産業分野のひとつでもあります。また、近年の食品業界のニーズは、「安心・安全・美味しい」にとどまらず「健康・美容」などの展開が求められており、食品の機能性のエビデンスベースでの評価などによる高付加価値化への取り組みは、ますます期待されています。また、地域の人口構成の高齢化に伴い、地域では、糖尿病などの生活習慣病についての社会課題を抱えています。

しかしながら、現在のところ県内には、これらの課題解決に資する人材養成や研究を組織的に行っている公的な高等教育機関は少ないのが現状です。

期待される役割

- ・ニーズを元にした研究やオープンイノベーションによる成果を地域産業界へ還元します。
- ・食品生産開発・課題解決に資する総合的な科学リテラシーもった高度専門職業人材の養成
- ・地域食品産業が抱える諸問題を解決するための社会人の学び直し機会としてのリカレント教育の提供
(分析スキル, 食品衛生学, 危機管理技術等)

食を通じた地域産業活性化 及び 地域健康増進を支援

